

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年11月21日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000003"/> 整理番号 <input type="text" value="11230"/> 担当者 <input type="text" value="加根魯 和宏"/>			
表 題	<input type="text" value="厚肉材の非破壊検査に適した渦電流探傷プローブと試験法"/>			
技術分野	<input type="text" value="金属材料"/>	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="非破壊検査機器, 構造物のヘルスマonitoring機器など"/>			
目 的	<input type="text" value="肉厚の厚い導電性試験体のきずをSN比(信号対雑音比)を高く検出し深さ評価のできる新しい考え方の渦電流探傷プローブの提供。"/>			
技術概要	<input type="text" value="電磁気を利用した非破壊試験法である渦電流探傷試験は、非接触で高速度に探傷(きず検出)が行える特長を持ち肉厚の薄い導電性の試験体に多用されている。原子力プラントの原子炉を覆う構造材には肉厚の厚い鋼板が使用され、経年劣化に伴い応力腐食割れなどが発生する報告がされている。従来の渦電流探傷プローブでは、肉厚の厚い試験体に生じた深さのあるきず(例えば応力腐食割れ)の検出が原理的に困難である。"/> <input type="text" value="本発明は、肉厚の厚い試験体のきずを精度高く検出し深さ評価を行える回転渦電流探傷プローブである。さらに、鋼板に生じたきずは任意の方向を有するから、回転渦電流によるのでプローブの走査方向に対するきずの向きの影響されことなくきず検出可能としている。"/>			

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp